

令和5年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

令和5年6月1日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



唐丹湾ではホタテガイの付着が継続、ラーバも大型化しています。採苗器の分散投入を進めてください。

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は11.7℃で、透明度は9.0mでした。
- 唐丹湾では、殻長200μm未満の小型のホタテガイラーバが89個/m³、200μm以上の大型のラーバが26個/m³出現し、大型のラーバが増加傾向です。
- 唐丹湾ではホタテガイ付着稚貝が26個/袋（採苗器13日間垂下）確認され、そのうち付着直後と思われる稚貝は11個/袋（ホタテガイ付着稚貝数全体の42%）でした。
- 県下沿岸各地でも稚貝の付着が継続しています。
- 例年と異なり今年は**少量**の稚貝の付着が長期間続くと予想されますので、採苗器の分散投入を進めてください。

< 陸奥湾の状況（5月25日発行ホタテガイ採苗速報（第10号）） >

- ラーバの出現は例年よりも少ない。付着数も例年よりもかなり少ない。
- 目合いの細かいパールネットを用意し、小さな稚貝も有効活用するよう指示。

< 宮城県の状況（5月31日発行ホタテガイ採苗通報（第7報）） >

- 週間の付着数は増加傾向であるが、低調のまま推移する可能性があるため、採苗器を分散投入するよう呼び掛け。

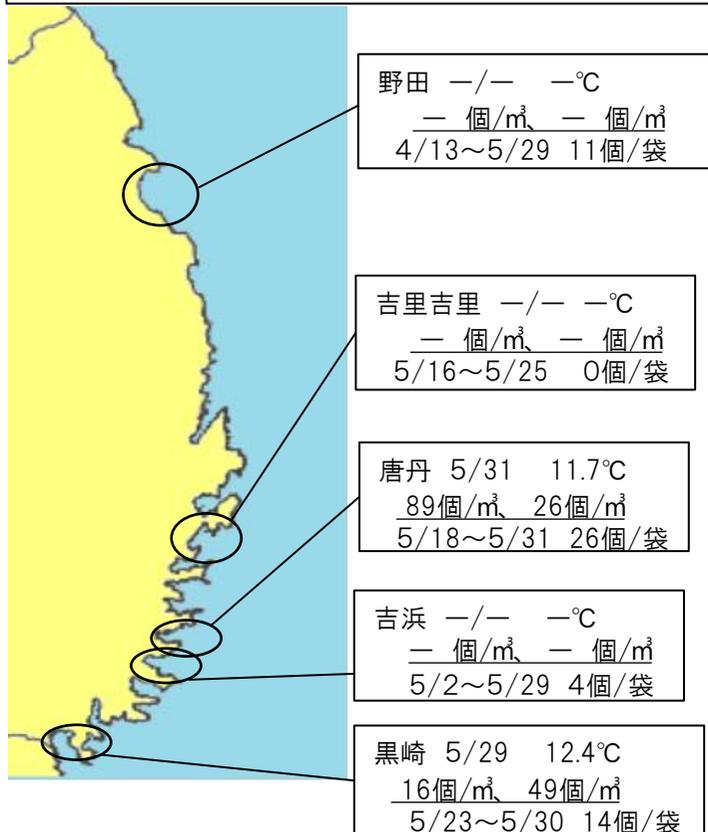


図1 各定点の調査結果
(国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、6月9日頃に発行する予定です。

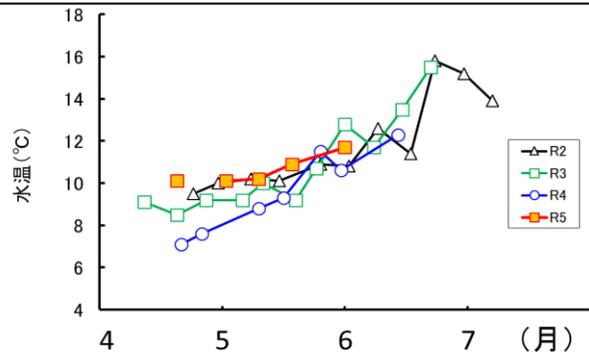


図2 唐丹湾定点における水深10m水温

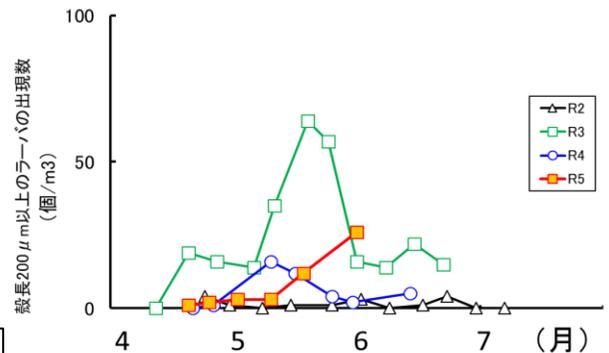


図3 唐丹湾におけるホタテガイラーバ出現数

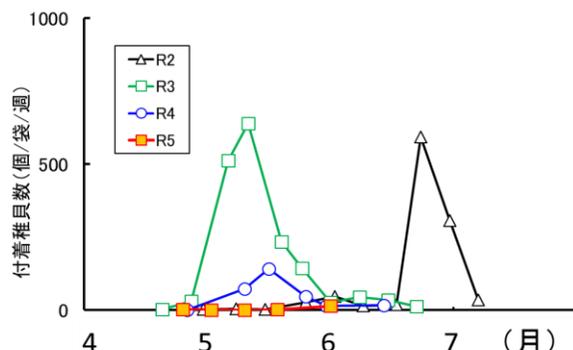


図4 唐丹湾における1週間当たりのホタテガイ稚貝付着数